

Antigravity完全ガイド

～初心者から実践まで、順番に学べる保存版～

by ちーみつ

目次

はじめに

第1章: 導入編 - Antigravityとは？

第2章: 設定編 - まずやるべき3つのこと

第3章: 自動化編 - SKILLS機能

第4章: 実践編 - Lowモデル活用法

第5章: トラブル対処編 - エラー解決法

第6章: 応用編 - ツールの使い分け

おわりに

はじめに

このガイドは、AIエディタ「Antigravity」を初めて使う方から、すでに使っている方まで、順番に読んで実践できる構成になっています。

各章の最後には、詳しい解説記事へのリンクも掲載していますので、気になる部分はぜひ記事も読んでみてください。

それでは、一緒にAntigravityを使いこなしていきましょう！

第1章: 導入編 - Antigravityとは？

Antigravityの特徴

Antigravityは、Gemini 3を搭載したAIエディタです。
他のツールと比較して、以下の特徴があります：

デザイン作成能力が高い

- 指示していない背景画像を自動生成
- Webサイトの雰囲気为先回りして提案
- 「気の利き方」が特徴的

他ツールとの比較

実際に「ChatGPTのグループチャットを紹介するウェブサイトを作って」という指示で比較してみました：

- **VSCode (Codex CLI)**: 最も速く、シンプルで実用的
- **Kiro (Claude Sonnet)**: 丁寧だが時間がかかる
- **Antigravity (Gemini)**: 背景画像を自動生成する「気の利き方」

何ができるのか？

- Web制作（LP、サイト、アプリ）
- コード生成・修正
- デザイン提案
- エラー対処

最初の一步

まずは、シンプルな指示から始めてみましょう。

「〇〇を紹介するウェブサイトを作って」

大事なのは、速さだけでなく、

自分の作業全体を楽にしてくれる「相性」でツールを見極めることです。

📖 詳しくは: <https://note.com/chi3jp/n/nb094c8033a1d>

第2章: 設定編 - まずやるべき3つのこと

設定が終わった後に「で、結局なにをすればいいの?」と手が止まってしまう方も多いようです。

せっかく環境を整えたのに、使わなくなってはもったいない。

ここでは、Antigravityを導入したらまずやってほしい「3つのステップ」をご紹介します。

Step 1: AIエディタと会話する（相談・企画）

いきなり「コードを書いて」と頼まず、まずは壁打ち相手としてチャットしてみましょう。

おすすめの設定

チャット入力欄下のモデル選択から、「**Planning**」モードを選んで相談してみてください。

「こんなツール作れる？」

「ここが面倒なんだけど」

そんな雑談から、意外なアイデアが生まれます。

Step 2: 自分用のWebアプリを自作する

作りたいものが見えたら、まずは「自分だけが使うツール」を自作してみましょう。

誰かに見せるわけじゃないので、見た目も機能も最低限でOK。

「完璧じゃなくていい」。

そう思うだけで、最初の一步は驚くほど軽くなります。

Step 3: クレジット節約に「Lowモデル」を活用する

いろいろ作っていると気になるのが「利用制限（クレジット）」です。

実はAntigravityでのコーディングは、
高性能なHighモデルを使わなくても、
軽量の「**Lowモデル**」で十分なことが多いんです。

これを知っているだけで、
クレジットを節約しながら快適に開発が続けられます。

まとめ

設定はあくまでスタートライン。

そこから一歩踏み出して、

「自分の手で何かを作る」体験をすると、
景色がガラッと変わります。

第3章: 自動化編 - SKILLS機能

SKILLS機能とは？

毎回の指示出しを自動化できる機能です。

いつも投稿を書くときは、
最初にAIに「指示ファイルを読んで」と入力してからスタートしていました。

こうしないと、トーンがズレたり、
形式が守られなかったりするからです。

最近、Antigravityに「SKILLS」という新機能が実装されました。
これは「手順書を読み込ませて自動実行する」機能です。

SKILLS機能のメリット

AIにメリットを聞いてみました:

- 毎回の指示が必要なくなる
- 指示の見落としがなくなる

確かに、指示ファイルの内容を見落として進めてしまい、
後で修正することがありました。

SKILLS機能の設定方法は？

AIにSKILLSの設定を頼むだけで完了しました。

設定方法(ディレクトリ構造やYAMLの書き方など)は
詳しくわからなかったので、

いつものようにAIに頼りました。

設定の手順

ステップ1: AIに依頼する

「今の指示ファイルの内容で、SKILLSを設定して」

ただこれだけ入力。

ステップ2: AIが自動で設定

AIがあっという間に以下を作成してくれました:

- `.agent/skills` フォルダ
- 必要な `SKILL.md` ファイル

設定は本当に一瞬で終わりました。

隠しファイルになってるので、通常は見えなくなっています。

macだと↑⌘で「agent」フォルダが表示されて、その中に設定ファイルができます。

SKILLS機能を使うとどう変わる？

毎回の「指示ファイルを読んで」が不要になります。

設定後、すぐに効果を実感しました。

今までは「指示ファイルを読んで」と毎回入力していましたが、今は「メルマガ書いて」と言うだけ。

AIが勝手に指示を読み込んで、
ルールに沿った原稿を作ってくれます。

たった一手間ですが、
この積み重ねは大きいです。

SKILLS機能はどんな人に向いている？

毎回同じ指示を出している人に最適です。

新しい機能は「難しそう」と敬遠しがちですが、AIに設定を任せれば、実は一瞬で終わります。

この機能が向いているのは:

- 毎回同じ指示を出している人
- たまに指示を忘れて、後で修正することがある人
- 作業の「儀式」を減らしたい人

 **詳しくは:** (公開後のURLを追加予定)

第4章: 実践編 - Lowモデル活用法

「高い方が良い」とは限らない？

3Dギャラリーの修正作業で、Antigravityを一日中使っていました。

一歩進んではエラー、直してはまたエラー…。

そんな根気のいる作業を繰り返す中で、ある噂を耳にしました。

「Gemini 3 Proは、HighよりLowの方がコーディングに向いているらしい」

正直、半信半疑でした。

「High」の方が性能が良いはずだし、複雑なコードなら尚更だろうと。

でも、実際に「Low」に切り替えてみて驚きました。

サクサク動く、的確に直る

まず感じたのは、反応の速さです。

Highだと少し待たされる場面でも、Lowはサクサク返してくれます。

そして肝心のコード修正能力も、全く遜色ありません。

むしろ、迷いがなくストレートな修正案を出してくれる印象さえあります。

「コストパフォーマンスが良く、反応も早い」

噂は本当でした。

制限が来たら「選手交代」

もちろん、ずっと使い続けていると「利用制限」の壁にぶつかります。

そんな時、私はAIを「選手交代」させて乗り切っています。

1. **Gemini 3 Pro Low** でスタート（早くて快適）
2. 制限が来たら **Claude Sonnet 4.5** にチェンジ
3. それも尽きたら **GPT-OSS** へ

こうしてリレー形式で繋いでいるうちに、

最初のGeminiの制限が解除されて、また戻れるようになります。

無料でも、工夫次第で「ずっと」使える

「Antigravityは制限が厳しい」という声も聞きますが、

こうやってモデルを使い分ければ、無料プランでもかなりの作業量をこなせます。

「一番いいモデルを使わなきゃ」という思い込みを捨てて、

「軽くて速いモデル」をメインに据えてみる。

そんな使い方が、Antigravityを一番快適に使うコツかもしれません。

もし「High」一択で使っている方がいたら、

ぜひ一度「Low」の軽快さを試してみてください。

第5章: トラブル対処編 - エラー解決法

AIに「伝わらない」もどかしさ

フリマサイトでの出品を楽にするため、Chrome拡張機能を自作しています。

最近は話題のAntigravityを使っているのですが、
指示出しにはいつも苦勞させられます。

「ここが動かないから直して」

そう伝えると、AIは自信満々に「修正しました」と答えてくれます。

でも、試してみると全く直っていない。

そんなやりとりを2回、3回と繰り返していると、
だんだん疲れてきませんか？

実はこれ、AIの能力不足ではなく、
AIに「何が起きているか」が正確に伝わっていないことが原因のほとんどです。

解決の鍵は「真っ赤な文字」

そんな時、私が必ずやっていることがあります。

それは、ブラウザの「開発者ツール」に表示されるエラーメッセージを、
そのままAIにコピペすることです。

「開発者ツール」と聞くと、難しそうに感じるかもしれませんが。

確かに、開いた瞬間は英語の文字が画面いっぱいに表示され、
「うわぁ…」と拒否反応が出る気持ち、よく分かります。

でも、私たちがやることはたった一つ。

「赤くなっている文字」を探して、コピーするだけです。

3ステップで完了する「コピペ解決法」

手順はとてもシンプルです。

1. 動かない画面の上で、マウスを右クリックします。

2. メニューから「検証」を選びます。（一番下にあることが多いです）

※ ショートカットキーでも開けます

- Windows: F12 または Ctrl + Shift + I
- Mac: Command + Option + I

3. 出てきた画面の上の方にある「Console（コンソール）」というタブをクリックします。

すると、画面の中に赤い文字で何かが書かれていることがあります。

これが、ブラウザからの「ここがおかしいよ！」という叫び声です。

この赤い文字をコピーして、

Antigravity（またはChatGPTなど）にこう伝えます。

「コンソールにこんなエラーが出ています。修正してください」

そして、さっきの文字を貼り付けるだけ。

「事実」を伝えると、AIは迷わない

驚くほどあっさりと、AIは解決策を提示してくれます。

「なんとなく動かない」という曖昧な相談から、

「このファイルが見つからない」という明確な事実の共有に変わるからです。

もし、AIとの修正作業で詰まってしまったら、
騙されたと思って一度「右クリック→検証」を試してみてください。

その赤い文字が、解決への一番の近道かもしれません。

📖 詳しくは: <https://note.com/chi3jp/n/n0db4048a3baa>

第6章: 応用編 - ツールの使い分け

なぜ複数のAIツールを使えるようにしておくのか？

結論：「保険」として持っておくと、いざという時に困りません。

いつも使っているAIツールが、
突然使えなくなったらどうしますか？

サーバー障害、クレジット切れ、仕様変更。
便利なツールほど、使えなくなった時のダメージは大きい。

過去にChatGPTが障害で使えなくなった時、
他のツールを知らなかったら仕事が止まっていたはず。

だから、新しいツールを見かけたら少しでも触っておくようにしています。

完璧に使いこなす必要はありません。

「いざという時に、なんとか動かせる」

そのレベルで十分なんです。

V0とAntigravityをどう使い分けた？

結論：V0で全体デザインを作り、Antigravityで細かい修正をしました。

今回の制作フロー：

- V0でデザイン全体を作成（依頼主の情報+参考URLを入力）

- V0で生成したコードをダウンロード
- Antigravityで細かい修正（クレジット節約のため）

なぜ最初からAntigravityで作らなかったのか？

V0はどのモデルを使っているか公開されていません。
オリジナルモデルの可能性もある。

同じツールばかりだと、デザインがワンパターンになるかもしれない。
そう思って、今回は違うツールを組み合わせることに。

結果、いつもと少し違う雰囲気的设计ができた気がします。

おすすめのAIツール一覧

以下のツールは、Antigravityと組み合わせて使うと便利です：

V0 (Vercel)

- **特徴:** デザイン全体の作成が得意
- **向いている作業:** LP、サイトの初期デザイン
- **紹介リンク:** <https://v0.app/ref/FTF2DT>
- **メリット:** Stripe、Supabaseとの連携が簡単

Lovable

- **特徴:** アプリ不要でバイブコーディング
- **向いている作業:** Webアプリ、プロトタイプ
- **公式サイト:** <https://lovable.dev>
- 📖 詳しくは: <https://note.com/chi3jp/n/n71bb5915deaf>

Bolt.new

- **特徴:** 高速なプロトタイピング
- **向いている作業:** 簡単なWebアプリ

- 公式サイト: <https://bolt.new>

Replit

- 特徴: オンラインIDE、コラボレーションに強い
- 向いている作業: チーム開発、教育
- 紹介リンク: <https://replit.com/refer/chi3jppp>

使い分けのコツ

新しいツールを試すのは面倒に感じるかもしれません。

でも、「保険」として持っておくだけで、
いざという時の安心感が全然違う。

あなたが今使っているツール、
もし明日使えなくなったらどうしますか？

その答えを考えておくだけで、
選択肢は広がっていきます。

📖 **V0との使い分け詳細:** <https://note.com/chi3jp/n/n39f24fd4957c>

おわりに

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。

Antigravityは、使い方次第で強力な味方になってくれます。

このガイドが、あなたのAntigravity活用の一助になれば幸いです。

より詳しい情報は、メルマガで配信中です:

✉️ メルマガ登録で、以下の特典をプレゼント:

- Chrome拡張機能 5種
- Midjourney srefコード集
- AIプロンプト集
- SUZURIガイド
- SEOチェックリスト

▶ <https://chi3.substack.com/about>

SNS

- X: https://x.com/chi3_jp
 - Instagram: https://www.instagram.com/chi3jp_aiart
 - まとめサイト: <https://wks3.vercel.app/>
-